



「音楽で奏でる 本の世界」コンサート



ピアノとヴァイオリンの演奏でコンサートは始まります。

7月2日（日）に広瀬図書館・広瀬市民センター・広瀬文化センターの3館共催で朗読コンサート「音楽で奏でる本の世界」を開催しました。音楽をテーマに本を選び、その本の朗読を交えながら、文学で著された音楽を生みの音で実際にお聴きいただく、大人も子供も楽しめる「本の演奏会」です。

Happy Toco のお二人、榊原 光裕さんのピアノと佐藤 聡子さんのヴァイオリンが奏でる美しい音色の演奏でコンサートは始まりました。一曲目は児童文学「ビルマの豎琴」の中に登場するアイルランド民謡「庭の千草」、二曲目は「バイオリンの村」に登場する曲ドヴォルザークの「ユーモレスク」。情趣が込められた文学作品の朗読としっかりとしたサウンドに会場の皆さんが目目を閉じて聴き入ります。



趣きのある朗読と美しい音色でコンサートは進みます。

続いて、コンサートに先立ち開催した「朗読ワークショップ」でレッスンを受けた子ども達とHappyTocoによる、音楽と朗読のコレボレーションです。歌手ボブ・ディランさんの「始まりの日」から「フォーエバーヤング」、そして、童話絵本作家 角野 栄子さんの代表作で、宮崎駿監督の映画作品としても有名なアニメ映画「魔女の宅急便」から「空飛ぶ宅急便」と「傷心のキキ」。子ども達によるそれぞれの本の朗読の後、HappyTocoの演奏へと続きます。子ども達は「思ったよりたくさんの方が来たので緊張しました。」とのこと。しかし、コンサートでは立派な朗読を披露したくさんの方が感動していました。



休憩を経て始まった第二部はHappyTocoの演奏再開です。「彼女だけの音楽」からガーシュウインの「Someone to watch over me」、チックコリアの「Return to forever」。そして「蜜蜂と遠雷」から、サティの「Je te veux」とドビュッシーの「月の光」を演奏。最後にはアンコールにもお応えいただきました。

朗読と音楽と言う一風変わった趣向を凝らしたコンサートでしたが、大変多くの満足の声寄せられました。初夏の午後、たくさんの方の地域の皆さんに、質の高い芸術鑑賞の機会をお届けできたのではないのでしょうか。



緊張したけど上手に朗読練習の成果が出ました。



素晴らしい演奏に拍手が鳴りやみませんでした。

企画の段からご協力いただいたHappyTocoのお二人に感謝です。ありがとうございました。